

CASBEE®
大阪 みらい

建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	(仮称)大阪鶴橋ホテル新築工事	 
建設地	生野区鶴橋2丁目	
建物用途	ホテル又は旅館	
建築主	(株)レーサム	
設計者	(株)坂倉建築研究所	
竣工年	2028年1月 予定	
構造/階数	S造 / 地上11階	
敷地面積	2623.64 m ²	
建築面積	1127.17 m ²	
延床面積	10855.43 m ²	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

B+

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

環境品質 Q

環境負荷 L

100

50

0

3.0

1.5

BEE=1.0

0.5

0

0

50

100

62

41

1.2

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★★★★★

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

建設

修繕・更新・解体

運用

オンサイト

オフサイト

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外のオンサイト手法

④上記+オフサイト手法

100%

69%

69%

69%

0

50

100

150

200

(kg-CO₂eq/年・m²)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

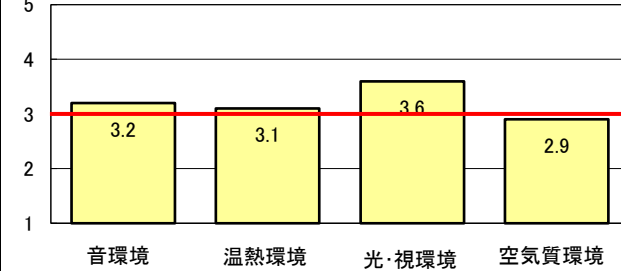
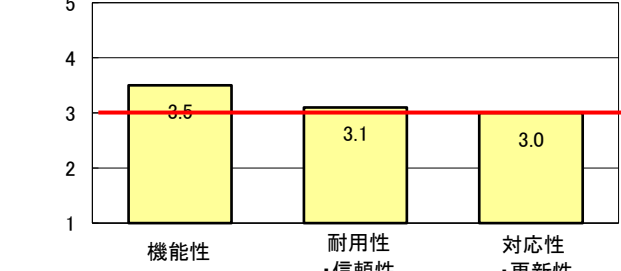
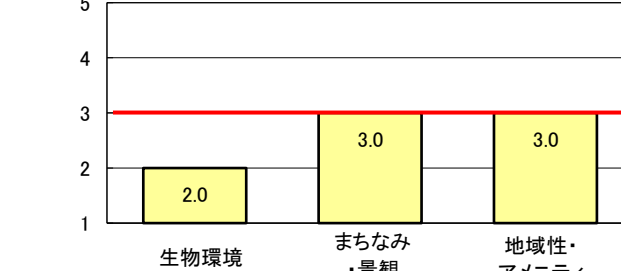
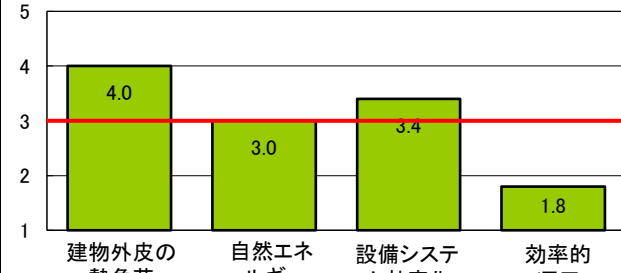
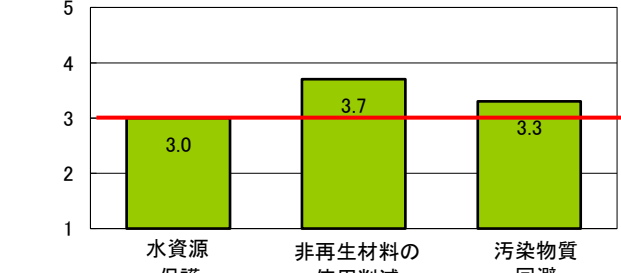
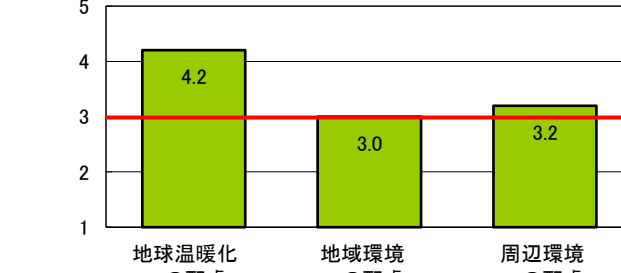
5

4

3

2

1

2-4 中項目の評価(バーチャート)			
Q 環境品質			
Q のスコア= 3.0			
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2 	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.2 	Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア= 2.7 	
LR 環境負荷低減性			
LR のスコア= 3.3			
LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.4 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.4 	

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
LED照明や高効率空調機の採用等により、省エネルギー性の高い建築計画とした。 敷地境界沿いの緑化により、周辺環境に配慮した計画とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
昼光率を高めに設定し、カーテンや庇を採用するなど光・視環境に配慮している。全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。非常用発電機を採用、通信設備の多様化、補修必要間隔の長い仕上材、配管材を採用するなど建物の耐用性・信頼性に配慮している。	防犯カメラの設置など防犯性に配慮している。空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。緑地を設けることにより良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。また、OAフロアを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	ライフサイクルCO2排出率を参照値より低減とするなど、地球温暖化への配慮をしている。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	4.2 ライフサイクルCO2排出量を参照値より低減
配慮事項	BEIm=0.61 躯体材料以外にリサイクル材を使用、再生できるユニット材を使用している	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.0 BPIIm=0.90
配慮事項	断熱材を強化し、外皮性能を上げている	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		3.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	3.4 BEIm=0.61
配慮事項		

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

住宅部分(品確法等級)		非住宅部分[BPI][BPIIm]	
外皮性能	対象外(相当)	0.90	
住宅部分[BEI]		非住宅部分[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量	-	0.61	